

小中一貫教育だより

滝野南小学校 ふるさと体験学習

6月14日（土）、滝野南小学校で「ふるさと体験学習」がありました。29人の地域の指導ボランティアの皆さんにご指導頂き、ふるさと滝野に伝わってきた地域の伝統的生活文化を子どもたちは保護者と共に体験しました。地域とのつながりが強い、滝野南小学校ならではの貴重な行事で、40年前の昭和60年から続いています。校長先生は約20年前にこの滝野南小学校の「ふるさと体験学習」で息子さんがつくった水鉄砲を児童に見せながら「大人になっても忘れないような素敵な思い出をつくってほしい」とあいさつされました。

その後、低学年は「けん玉、ぺったん、こま回し、紙飛行機、紙風船、お手玉」を、高学年は「水鉄砲作り、凧作り、お手玉作り、昔の食事・おやつ作り、紙玉鉄砲作り、折り紙」を体験しました。熟練の技で飛ばす紙飛行機を見て子どもたちは「何でこんなに飛ぶの？」と、飛ばし方の工夫に気づき、マネをして飛んだ時には歓声をあげていました。

最後に行われた閉講式で、昔の食事・おやつ作りを体験した児童は「特に難しかったのは、ごぼうを鉛筆のように切ることです。家でも作って食べてみたい。」、凧作りを体験した児童は「竹ひごをしらせながら糸を付けるのが難しかった。とても楽しいふるさと体験になりました。」紙玉鉄砲作りを体験した児童は「新聞を濡らして詰めること、空気を抜けないように詰めるのが難しかった。」と感想を述べました。

反省会では、指導ボランティアさんからは「最初はこまを回せなかった子どもが回せるようになったときのあの笑顔が忘れられない。」「地域と学校が協力し合って子どもたちの成長を見守る場として、ふるさと体験学習は今後も残していきたい行事である。」という感想が寄せられました。

各講座で昔遊びを楽しみ、子ども、保護者、地域のボランティアが共に交流を深めた温かな行事となりました。

令和10年度開校の「滝野学園」では、東条学園や社学園同様、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を立ち上げます。それにより、学校と保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めることができます。そして、学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりができます。滝野地域の皆様、どうか、滝野学園の子どもたちにも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



【 紙飛行機 どこまで 飛ぶかな 】



【 ご指導頂きながら 折り紙に 挑戦中 】



【どのように巻いたら コマは上手く回りますか】



【 紙玉鉄砲作りの極意を学ぶ 】